

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				平成	25	年度
事業番号	791	事業名	小学校少人数学級等実施事業費			
担当課	学校教育課	担当係	学校教育係			
総合計画に最も関連ある施策	施策	4	豊かな心を育み文化の薫るまちづくり		連絡先	84-1231
	施策体系	1	学校教育の充実		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規
	主な事業	30人学級の実施及び複式学級の解消を実施				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款	9	教育費		事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町
	項	2	小学校費			<input type="checkbox"/> その他
	目	1	学校管理費		計画期間	開始
	事業	791	小学校少人数学級実施事業費			終了

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 児童				
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 児童一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を充実させる。				
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 全学年での30人学級の実施及び複式学級の解消				
事業の手段	どうする方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 鳥取県へ協力金を負担して実施				
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 少人数(30人)学級の実施及び複式学級の解消				
根拠法令等	5	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→

3 活動指標、成果指標

活動指標	A	学級	事業の手段を図るものさし	
	B	学級	1学級30人以下	
	C		複式学級の解消	
	D			
	成果指標	A	単位	事業の成果、到達点を図るものさし
B				
C				
D				
D				

4 コスト

区分	単位	23年度	24年度		25年度		26年度	27年度	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	
活動指標	A	学級	4	3	3	2	3	2	2
	B	学級	4	4	4	5	5	5	5
	C								
	D								
成果指標	A								
	B								
	C								
	D								
トータルコスト		千円	37,603	26,820	29,820	39,800	44,800	44,800	44,800
担当職員数		人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
職員人件費		千円	820	820	820	800	800	800	800
事業費		千円	36,783	26,000	29,000	39,000	44,000	44,000	44,000
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円							
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
一般財源(単町費)		千円	36,783	26,000	29,000	39,000	44,000	44,000	44,000

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 25 年度

実施活動内容・ 成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)
	少人数学級実施、30人学級実施、複式学級の解消
	成果(具体的に)
	少人数学級実施(2学級)、30人学級実施(3学級)、複式学級の解消(5学級)を解消した。

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	13	20	①必要性が高い	学校・保護者からの要望も強い。また、児童にとっても実施することが望ましい。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	きめ細やかな指導が充実され様々な教育課題の解消が図られる。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	鳥取県に協力を支払うことにより事業が完了できる。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	きめ細やかな指導等をするために必要性がある。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	20	20	①成果が上がっている	複式学級の解消や30人学級をすることにより児童の健全なる成長が助けられる。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
2	1、拡充する	80点以上	79	成果が上がっており、継続することが望ましい。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点	2	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
2	1、拡充する	児童一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を充実させることを目的に導入されている。全学年での30人学級の実施及び複式学級の解消が図られ、成果は上がっている。今後も継続し実施されたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所 協力金が増額されることの懸念。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか 事業を継続していく。